

亜熱帯森林資源の 管理方式に関する研究



- 亜熱帯における有用樹種の育成試験
 - 1. 有用広葉樹人工林の育成試験……………2
 - 2. 天然生広葉樹林の改良試験……………3
- 有用きのこの探索と生態的特性解明……4～5
- 奄美群島における南根腐病の実態調査…6～7

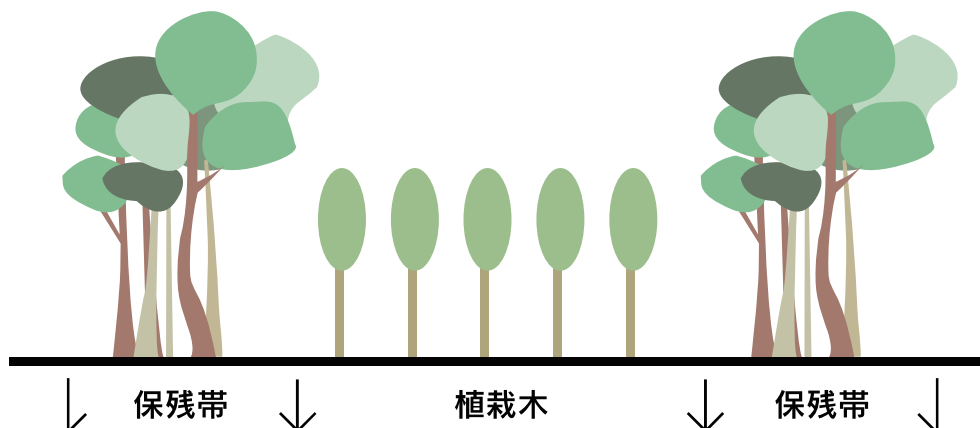
亜熱帯における有用樹種の育成試験

1. 有用広葉樹人工林の育成試験

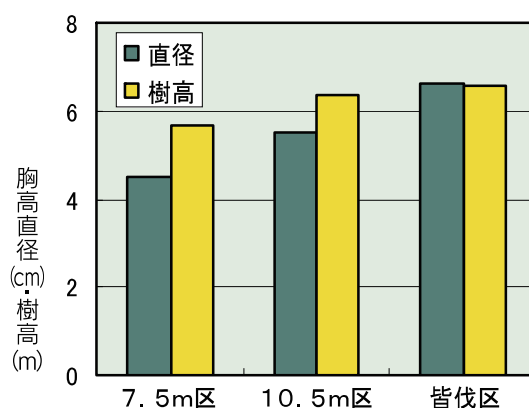
研究目的

奄美群島における有用広葉樹人工植栽林の育林技術の資料を得る

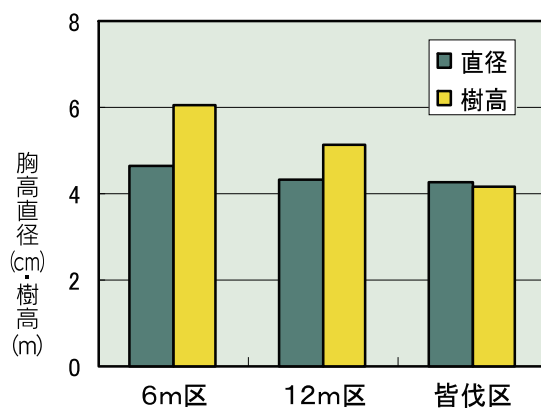
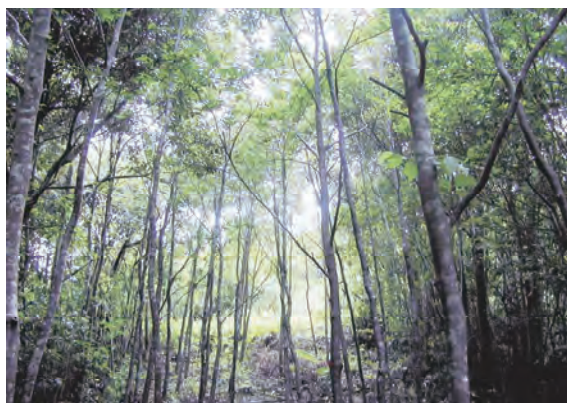
防風対策、上長成長促進を期待した帯状植栽試験



イジュ



エゴノキ



結論

イジュは陽光の要求度が高く広い植栽帯を必要とするが、エゴノキは狭い植栽帯の成長が優れた。

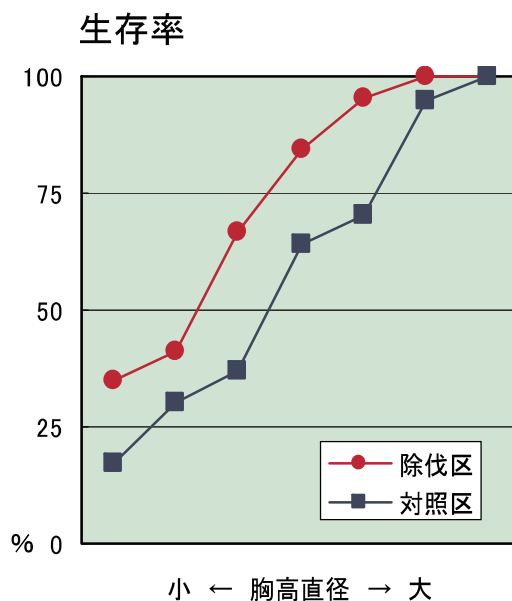
亜熱帯における有用樹種の育成試験

2. 天然生広葉樹林の改良試験

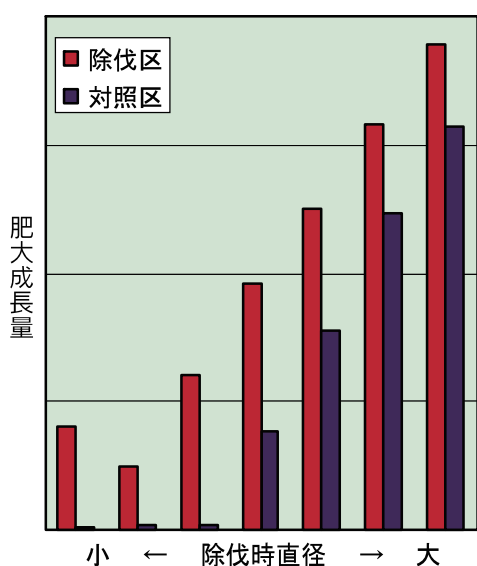
研究目的

亜熱帯天然生広葉樹林における除伐による改良効果を明らかにし、施業技術体系化の資料を得る。

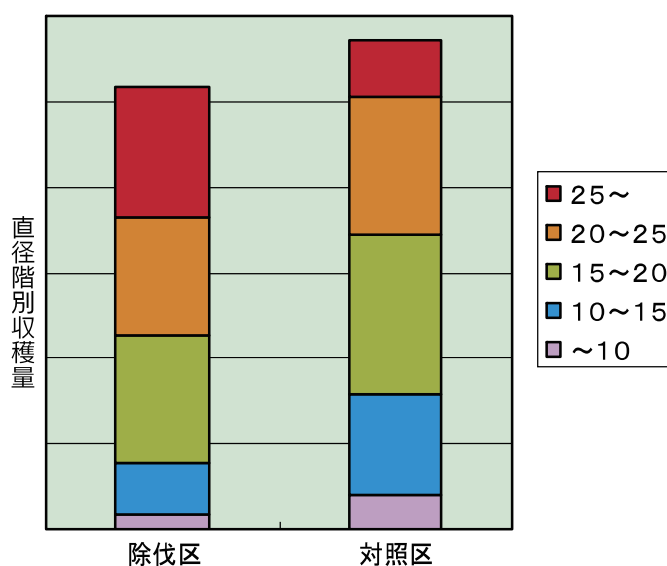
除伐改良林の効果比較試験



肥大成長量



直径階別収穫量



結論

亜熱帯天然生広葉樹林における改良効果は、目的とする樹種の肥大成長が図られるとともに、直径の大きい階級が多く得られることがわかった。

有用きのこの探索と生態的特性解明

研究目的

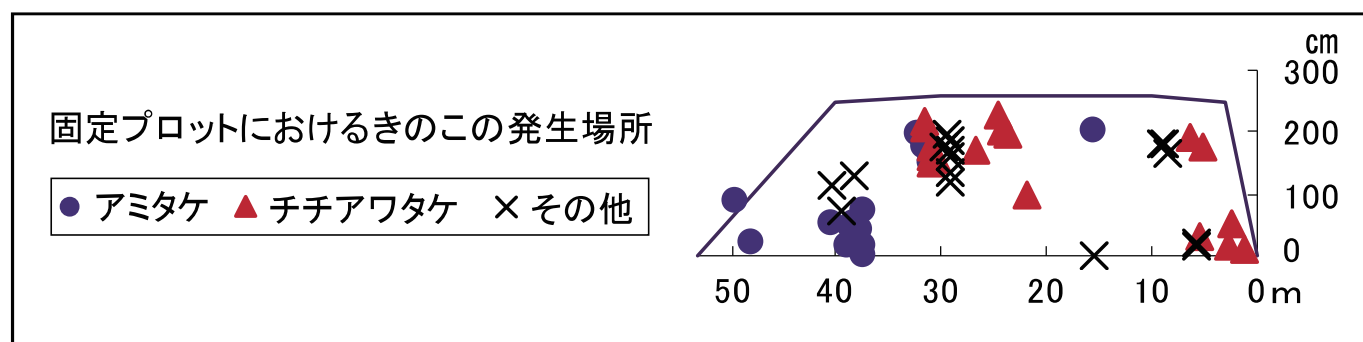
奄美におけるキノコ相を調査し、標本の収集と目録の作成を行う。

1. 固定プロットにおけるきのこの生態調査

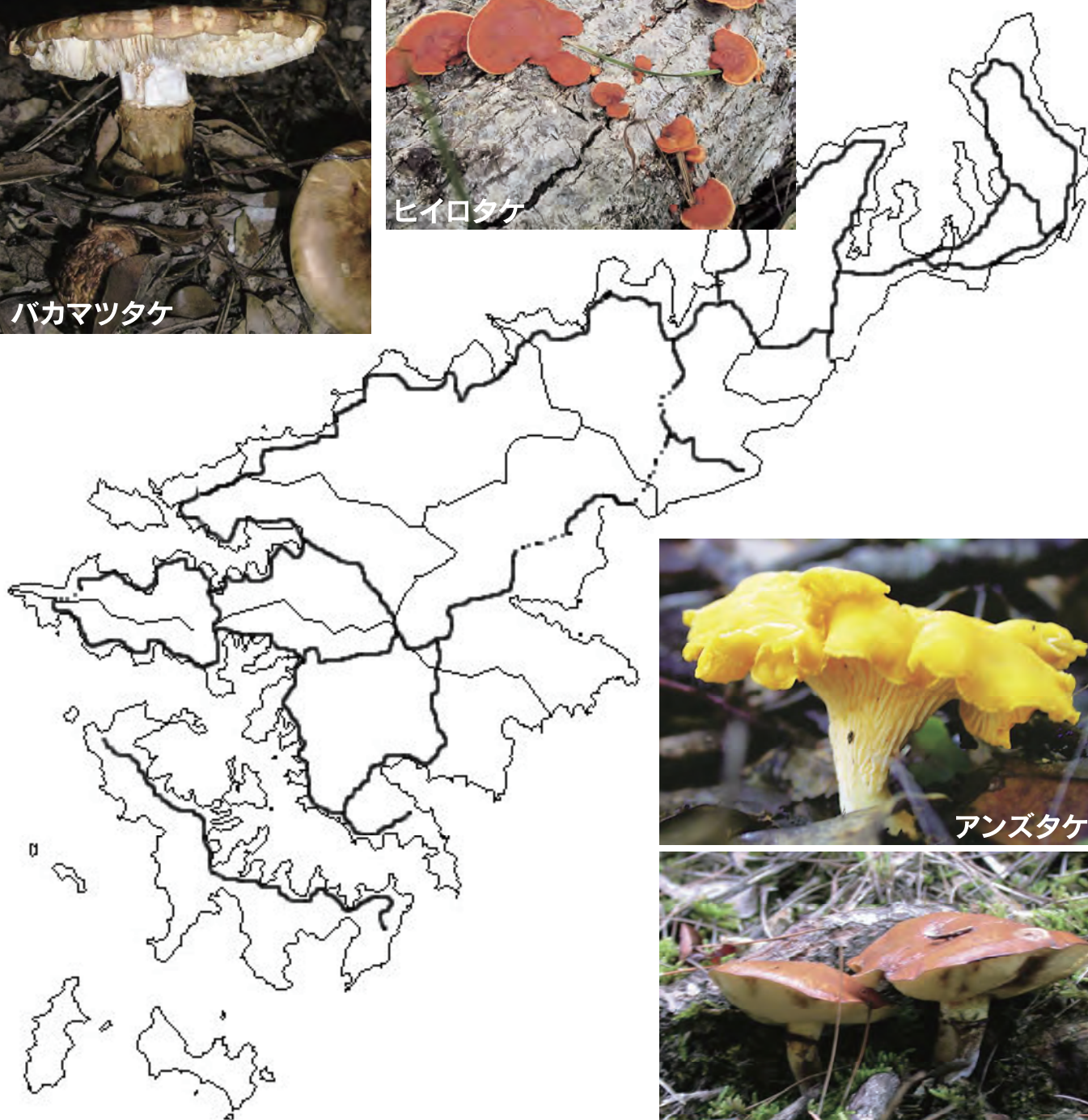
(県道法面に固定プロットを設置し、発生したきのこの種類と発生した箇所を図面に記録)



アマタケ、チチアワタケ等の群生を確認



2. 固定プロット外におけるきのこの生態調査



調査箇所：奄美大島本島・加計呂麻島・請島・与路島

結論

有用きのこととしては、バカマツタケとアンズタケが挙げられる。
2,745個のきのこを採集し、そのうち属名が判明したものは92%、
種が同定されたのは46%であった。

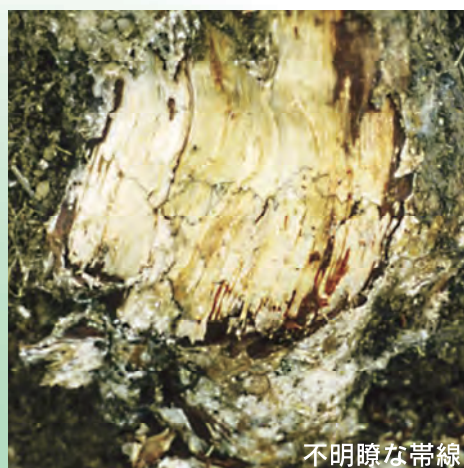
奄美群島における南根腐病の実態調査

研究目的

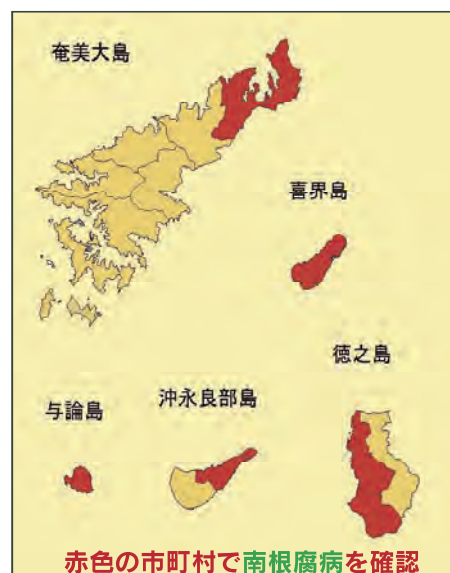
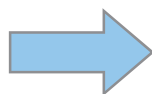
南根腐病の分布状況と被害実態を明らかにする。

南根腐病の病原菌は シマサルノコシカケ *Phellinus noxius*

1. 病徴



2. 被害分布





生垣: シャリンバイ



畑地周囲木: ヤブニッケイ



畑地防風林: モクマオウ



宅地防風林: ガジュマル

3. 被害伝搬



平成11年12月



平成13年2月



平成14年3月

解明されたこと

- ① 奄美群島全島で被害確認
- ② 生垣、畑地、防風林等で多く発生
- ③ 被害は確実に伝搬して、枯死に至る
- ④ 被害樹種はモクマオウ、シャリンバイ、ヤブニッケイ等
- ⑤ 地形的に平坦、風が吹き抜けるような場所
- ⑥ 従来から畑作農業が盛んな地域で被害発生が多い



ルリカケス

このパンフレットは森林総合研究所が平成13～17年度に鹿児島県林業試験場に委託して実施した「亜熱帯森林資源の管理方式に関する研究」の主要な研究成果をまとめたものです。



倉崎海岸(龍郷町)

(研究成果普及シリーズ No.5)

独立行政法人 森林総合研究所九州支所

〒860-0862 熊本県熊本市黒髪4-11-16
TEL:096-343-3168 FAX:096-344-5054

本所

〒305-8687 茨城県つくば市松の里1
TEL:029-873-3211 FAX:029-874-3720

鹿児島県林業試験場

本場

〒899-5302 鹿児島県始良郡蒲生町上久徳182-1
TEL:0995-52-1834 FAX:0995-52-0078

龍郷町駐在

〒894-0105 鹿児島県大島郡龍郷町大勝1032
TEL:0997-62-2007 FAX:0997-62-2818